

ドイツ語ドイツ文学コース_01_ガイダンス資料

— 新2年生の皆さんへ —

I. 科目登録について

【必修演習】

自動登録科目です。2年次の春学期には「演習1（研究入門）」が、秋学期には「演習4（ドイツの思想）」が自動登録されます。

【選択演習】

卒業までに少なくとも14単位を修得して下さい。年度によって開講されない科目（隔年開講の科目）がありますので注意して下さい。

【選択講義】

卒業までに少なくとも12単位を修得して下さい。年度によって開講されない科目（隔年開講の科目）がありますので注意して下さい。

【コース専門外国語】

卒業までに少なくとも4単位を修得して下さい。「中級」が2科目、「上級」が2科目設置されていますが、そこから少なくとも2科目を履修して下さい。組み合わせは自由です（「中級」1科目＋「上級」1科目も可）。

II. 専任教員からのメッセージ（年齢順）

【藤井 明彦】

言語文化論、音楽文化論、建築文化論などを幅広く担当しています。担当科目のうち2年生の皆さん向きだと思うのは「ドイツ語ドイツ文学演習8（ドイツ事情）」（春学期、金曜4限）、「ドイツ語圏の文化」（春学期、木曜2限）です。前者では建築物を鑑賞する目を養うと同時にドイツ語圏の歴史の勉強もします。建築なんてよく知らないやと言っていた人が数週間後には立派な発表をするので、いつも「さすが独文！」と驚いています。後者ではオペラのDVDを見ながら作曲技法や演出について解説することを予定していたのですが、授業形態が不安定な中で市販のDVDの常用を前提とするのは著作権等の問題が生じうると判断し、ガラリと変えて、「西洋占星術の世界—ドイツ語圏を中心にして」といったテーマで授業をします。ゲーテやデューラーといったドイツ語圏の著名文化人も登場しますが、それと並行して「星占い」の仕組みがよく分かるという利点もあります。この2科目はドイツ語をあまり使わない科目ですが、「ドイツ言語文化論」（秋学期、火曜3限）は読み応えのあるドイツ語をしっかりと読む授業なので、履修は3年次の方がいいかもしれません。

メールアドレス：af612@waseda.jp

【山本 浩司】

新二年生の必修科目「ドイツ語ドイツ文学演習1」を担当します。皆さんの担任になるので何か相談したいことがあったら下記メールアドレスまで気軽に連絡ください。

音楽好きやサッカー好きなら分かるはずですが、どの分野でも一流になるにはまず基本の反復。その先に面白い世界が広がっています。文法を一通り学んだ今、語彙力をつければ鬼に金棒。一日30分でもいいから時間を決めてドイツ語に接してください。

受験勉強みたいなケチなことするよりも、興味関心の赴くままに乱読すれば、関係語彙も身につくので一石二鳥です。広く浅くなら新聞雑誌が一番。FAZやZEIT, SZなど高級紙もいいですが、歯が立たずに挫折するのでは残念。Stern や Deutsche Welle あたりが入門向き。何から何まで案内するのでは自分で探す楽しみしなくなるので、あとは自分で探してみてください。

<https://www.stern.de/>

<https://www.dw.com/de>

著作権切れの文芸作品も Gutenberg-Projekt で青空文庫みたいにただで読めます。

<https://www.projekt-gutenberg.org>

さすがに同時代作家のものはそうはいきませんが、お試しで出だし何ページかをダウンロードできるケースがあります。「作家名」+「Leseprobe」で検索してみてください。ドイツ語で読めば、ハルキだってドイツ文学、どうぞチャレンジしてみてください。

https://www.randomhouse.de/leseprobe/Afterdark/leseprobe_9783442735648.pdf

メールアドレス：hiroyam@waseda.jp

【アルネ・クラヴィッター】

1年間の特別研究期間を終えて2020年9月に帰ってくるはずだったのですが、コロナのせいで2月現在帰国できずにいます。二年生の必修演習は秋からなので、今のうちにシャドウドイツ語しておいてください。

メールアドレス：kwitter@waseda.jp (メールは英語かドイツ語で書いて下さい)

III. コース室から

独文は少人数でアットホームなコースです。去年度はコロナ禍で断念するほかなかったけれど、クリスマスパーティーや学期ごとの打ち上げなどのイベントがあるので仲良くなれます。教員を囲んで学年を超えた読書会なども盛んです。その拠点となるのがコース室です。33号館601室。新学期が始まったら、Moodleなどを使って開室時間をお知らせします。

IV. コース合宿について

例年春先に合宿を開催してきました2021年度は感染状況をにらみながら、夏以降の開催

の可能性を探ります。合宿では、勉強のほか、朝まで熱い語らいが続けられるのが恒例です
ので、お楽しみに。

2021年3月

早稲田大学文学部 ドイツ語ドイツ文学コース